

新型インフルエンザについて

ひかりが丘薬局

H21.12月号

日本では例年12～3月がインフルエンザの流行シーズンですが、今年は新型インフルエンザが発生し、早くも流行のピークを迎えようとしています。

新型インフルエンザの患者さんやご家族の方へのアドバイス、ポイントなどについてご紹介しようと思います。

Q 新型インフルエンザへの対応は、通常の季節性インフルエンザと違うのでしょうか。

現在、流行している新型インフルエンザは、感染力は強いのですが、感染した人のほとんどが比較的軽症のまま数日間で回復しています。一方、特に基礎疾患のない若年層が重症化する症例も認められ、まだ不明な点も多く残されています。今のところ、既存の抗インフルエンザ薬が有効ですから、通常のインフルエンザに対する対応でよいと思われませんが、今後も注意は必要でしょう。

Q どんな点を注意すべきでしょうか。

水分補給に心がけて十分な静養を行い、処方された薬は指示通り最後まで服用することが大切です。また、解熱剤は、インフルエンザの時に処方された薬のみ服用・使用して下さい。他の方に処方された解熱剤や、以前処方された飲み残しは絶対に服用・使用せず、市販の解熱鎮痛剤や総合感冒薬の服用も避けて下さい。特に小児の場合は注意が必要です。

Q 家族はどのような点に注意すべきでしょうか。

最も注意すべきは肺炎と脳症です。

したがって、下記の症状がみられたときには、すぐに主治医に連絡して下さい。

- ①けいれん発作。
- ②呼びかけに反応しない。
- ③意味不明な言動や不可解な異常行動がみられる。
- ④激しい嘔吐が続く。
- ⑤呼吸困難（横になっている呼吸が苦しいので、座るあるいは前屈みになって、やっと呼吸をしている）。
- ⑥治療を受けているにも関わらず、高熱が7日以上続いている。

また、小児は1人にしないで、保護者が見守ることが大切です。

☆咳エチケットに注意しましょう。

マスクは、咳やくしゃみによるインフルエンザウイルスの飛散を防ぐ効果がありますので、必ずマスクをしましょう。

咳やくしゃみのしぶきは約2メートル飛ぶといわれています。

☆手洗いとうがいをしましょう。

外出後だけでなく、可能な限り頻回に手洗いをしましょう。石けんを使って指先、指の間、手の甲を20秒くらいかけて丁寧に洗うことが大切です。洗った後は、清潔なタオルで水分をきちんと拭き取ります。

Q 職場への復帰などは、いつから可能ですか。

熱が下がってもウイルスの感染力は、まだ残っています。熱が下がっても最低2日間は外出を控えて下さい。